

随想

小さなグループからのお便り

伊藤 貞

私が、岐阜に住んで50年になります。美しい流れの長良川へは歩いて5分で行くことができます。有名な岐阜城の立つ金華山も、春夏秋冬それぞれにおもむきを変えて、私たちを楽しませてくれます。

このような所に昭和50年、60名程の主婦のグループをつくりました。会の名称は岐阜消費者サークルです。安全で豊かな暮らしを守るために、全員の要望をまとめて、お茶（揖斐茶）じゃがいも（北海道）昆布（利尻）などの共同購入や、消費生活にかかわる知識をうるための勉強会、業者との懇談会、商品研究などを実施いたしました。

今、環境汚染問題が地球に住むひとりひとりの問題として大きく取り上げられておりますが、私共の力で出来ることは何かを考え、牛乳パックの回収ゴミ問題を取りあげております。現在岐阜市では、生ゴミは週2回回収されておりますが、消却場の満杯の状態を少しでも少なくするために、会員の1週間の買物状況やトレイ、包装紙、生ゴミの重量などを調査いたしました。現在集計中ですが、この調査の実施によって反省の声が多かったので、ゴミ減量に努力していただけるものと思っております。

また7月にいたしました勉強会をお知らせします。

食品添加物の新表示が7月1日から実施されました。新表示のポイントは、天然添加物についても表示が義務づけられたこと、また具体的な物質名を表示することになったことです。私たちは食品を購入する場合、まず表示をみます。製造年月日の新しいもの、出来る限り添加物の少ない食品を選んで購入します。しかし表示されている物質名の使用目的が理解できれば、折角の新表示も何の役にもたちません。各家庭の1日の献立の中で、何種類の食品添加物を摂取しているのでしょうか。私は出来る限り加工品、例えばハム、かまぼこ、等は購入をひかえ、手造りのものを食卓にのせるように心掛がけております。いま、添加物のない食生活などを考えられませんが、上手につきあいながら健康で心豊かに暮したいと考えております。私はこのグループのなかで良き友を得、ま

た、一人の小さな力もグループの活動となれば難題の解決ともなり、今後もこの会を大切にしていきたいと考えております。

(元総務庁家計調査員)